



アートリソースとメディア研究会

「イメージ愛好と都市，大学」Faiseur d'Images dans la Ville et à l'Université (仮)

主催：科研費「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」

日時：2015年11月7日〔土〕13時-16時15分

会場：名古屋大学情報科学研究科棟一階第1講義室

入場：無料 ＊講演はフランス語で，日本語に逐語通訳される

問い合わせ：名古屋大学大学院情報科学研究科 茂登山研究室 motoyama@is.nagoya-u.ac.jp

趣旨：大学には多様な教育研究資源が蓄積されており，美術に関係する「アート・リソース」も活用すべき資源として重要である。筑波大学をはじめとする六大学の協働で進められている本研究では，そうした美術に関係する資源を展示・公開，情報発信し，教育研究のみならず，大学の社会貢献に活用する方策について総合的に調査研究される。そのなかで名古屋大学は，情報デザインの立場からリソースの発見と鑑賞のためのシステムを開発してきた。

この研究会では，ジュネーヴよりメディアデザインの分野で活躍する2人を招き，それぞれの活動についてスピーチをしてもらう。続いて，都市におけるイメージ愛好と，大学という場について，メディアデザインの視点から議論をおこなう。なお，本研究会に先行して，プロジェクトギャラリー「clas」のスペースで，ゲスト二人を中心に，地域の芸術系・情報系の学生らが参加して，公開ワークショップ+展示が始まっている。ワークショップでは，スイスの小説家ニコラ・ブーヴィエのテキストをベースに撮影を行い，インタラクティブなコンテンツを協働で制作する。

プログラム

13h アートリソースの活用と研究会の趣旨
茂登山清文（名古屋大学）．竹内 創（名古屋芸術大学）

13h10-14h30 ダニエル・シボース氏講演
Daniel Sciboz, ジュネーヴ美術学校メディアデザイン教授, グラフィックデザイン, 展示会のキュレーションを国内外でおこなっている。

〔休憩〕

14h45-16h15 ディスカッション（シボース，シェルビーニ，竹内+茂登山）

●

17h レセプション（会費制）

●

関連企画

シボース，シェルビーニ両氏による講演 11月3日〔火〕13時10分より 名古屋芸術大学西キャンパス B棟大講義室